

第 17 回 PD 諮問委員会 議事要旨
＜ハイブリッド会議＞

1. 日時：2025 年 5 月 27 日（火）9:30～11:30

2. 場所：（ホスト）（一社）日本非破壊検査協会 10 階 A 会議室

3. 議題：

3.1 PD 諮問委員会委員構成の件

3.2 前回議事要旨の確認

3.3 PD 諮問委員会規約の確認

3.4 PD 認証機関事項（説明者：（一社）日本非破壊検査協会 PD 認証機関）

3.5 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項（説明者：（一財）電力中央研究所）

3.6 PD 研修センター事項

（説明者：（一財）発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター PD 研修センター）

（説明者：（一財）電子科学研究所 PD 研修センター）

3.7 その他

4. 出席者

4.1 委員

高木 愛夫委員長、堂崎 浩二副委員長（議事 5.1 により副委員長に就任）、鈴木 俊一委員、
笹原 利彦委員、渡士 克己委員

（構成員現在数 5 名中、過半数（3 名）以上の 3 名の出席と 1 名の委任により成立を確認）

5. 議事要旨

5.1 PD 諮問委員会委員構成の件

事務局が資料に基づき、PD 諮問委員会委員の構成員を説明し、現在、副委員長が空席であることから、高木委員長の指名により、堂崎委員が副委員長に就任した。

なお、PD 諮問委員会委員候補の推薦については、引き続き委員各位にお願いすることとした。

5.2 前回議事要旨の確認

事務局が第 16 回 PD 諮問委員会議事要旨を読み上げ、PD 諮問委員会が、これを確認した。

5.3 PD 諮問委員会規約の確認

事務局が資料に基づき、PD 諮問委員会規約の説明を行い、PD 諮問委員会が、これを確認した。

5.4 PD 認証機関

5.4.1 PD 認証機関事項（日本非破壊検査協会）

（一社）日本非破壊検査協会が資料を基に、PD 認証運営委員会、PD 資格試験機関/PD 試験センター審査及び PD 研修センター/PD 研修プログラム審査報告等を行った。PD 諮問委員会が、適切に認証審査が行われていることを確認のうえ、これを承認した。

なお、関係各位は、PD 制度を有効に維持していくためにも有効資格数を増やす努力をお願いしたいとのコメントがあった。

5.4.2PD 諮問委員会からの「意見書」に対する回答

(一社)日本非破壊検査協会が資料を基に「意見書」に対する回答の報告を行い、PD 諮問委員会が、内容を確認のうえ、これを承認した。

なお、諸外国の PD 制度の予算措置を含めた動向について調査・確認してみてもどうかとのコメントがあった。

また、分野ごとに異なったルールを作成すると資格者たちのモチベーションにも影響するため、共通的に使えるルールに絞って行うことは、重要なことである。それぞれの分野で特殊なものがあった場合、それが共通的に使えるものの中に含まれるのかが課題になるが、PD 技術者の認証においては現時点で十分満たされているとの回答であったことを確認したとのコメントがあった。

5.5 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項（電力中央研究所）

(一財)電力中央研究所が資料を基に、PD 試験実績、PD 試験委員会及び試験実績と試験結果分布等について報告を行った。PD 諮問委員会が、技術者の技量を適正な試験により評価していることを確認のうえ、これを承認した。

5.6 PD 研修センター事項

(一財)発電設備技術検査協会及び(一財)電子科学研究所が資料を基に、PD 研修実施状況等について報告を行った。PD 諮問委員会が、PD 研修センターが毎年更新研修を行い、ブラインド試験により資格者の技量維持がされていることを確認のうえ、これを承認した。

6. 次回開催予定

未定